



新発売

《ブレインシンフォニー》

《ブレインシンフォニー》は CD のみの7枚セットでしたが、ヘッドフォン付きのセットとしての販売を開始しました。

この《ブレインシンフォニー》は気分が沈んだ時や不眠で悩まれているかた鬱(うつ)っぽい方、さらに胎教にも最適です。

‘ブレインスイッチBOX’ ‘ミラクルサウンドBOX’ と、この《ブレインシンフォニー》との一番大きな違いは毎日聴いても飽きが来ないと言う点

トレーニング盤と瓜二つの原音 CD が付いている点です。

またトレーニングとしての効果音の制作の違いも、できるだけ原音を壊さないようにと、これまでの方法とひと味違った工夫をこらしています。

鬱・胎教の他

- ・ ちょっとした休憩時間に。
- ・ 少し気分が落ち込んだ時に。
- ・ 気分転換に。

- ・ 仮眠時に。
- ・ ボケ防止にも。

ヘッドフォン付きセット

価格 標準ヘッドフォン付 66,400 円

《ウルトラ》ヘッドフォン付 99,000 円

会員様向けトレーニング盤 7 枚セット。

サービス CD《郷愁》付き

価格 49,000 円 (会員価格 46,550 円)

(ヴォイス様でブレインフォースをお買い頂いた方で、原音 CD をご希望の方)

15.000 円

詳しくはお問い合わせください。

(注意= 《ブレインフォース》 と 《ブレインシンフォニー》 のトレーニング盤は同じものです)

《ライナーノート》

数年前、(株)ヴォイス様に『ブレイン・フォース』というトレーニングセットを供給致しました。

『ブレイン・フォース』は複雑化する世の中をもっと明るく過ごして頂きたいと、鬱やストレスを乗り越えて頂くことに特化して、新しいコンセプトで制作いたしました。

昨年、急ぎの要請を受け、『発売予定にはとても間に合わない』と断りつつも制作に入りました。

打ち合わせの時にコンセプトに合う曲は

「バッハのマタイ受難曲」、二枚目は「ラベルとドビッシー」。と口を滑らせてしまったために自分の首を絞める事になってしまいました。

バッハのマタイ受難曲は名曲中の名曲。作業にかかってみると、作業するところではありません。聞き惚れて夜な夜な何回涙を流したことでしょう。その度に手を止めて聴き入ってしまいます。

「これは加工なんてとてもできない」
「こんな名曲を加工するなんて罰があたる」と涙ながらに中断。

どうしたらこの名曲を壊さずにシステムにするかという葛藤の連続。時ばかり過ぎる毎日になってしまいました。

あるとき「こうすれば！」という閃きがあり、それなら曲も壊さずに、これまでにない加工方法が実現できる、と最も手のかかる作業の実験に入りました。

これならイケルという方法を見だし、選曲に始まり、演奏者選びに時間を費やし、それから夜も昼もなく作業の連続。

作業も終盤になり、制作した曲を並べてみると、同じバッハであるにもかかわらず、マタイ受難曲に合わない曲ばかり。

そこで解った事はこのマタイ受難曲は、それまでのバッハとは全く趣が異なっている事でした。バッハの天才ぶりを思い知らされました。さらに苦労を強いられた末に、ようやく一枚目の CD の選曲ができました

二枚目のドビッシー、ラベルも大変な作

業だと心に重くのしかかっていましたが、同じく苦闘の日々になりました。

これまでドビッシーとラベルの管弦楽曲は加工が難しいという点もあり、難しい曲は残してあったのですが、それらの曲がコンセプトと一致することから、この二人の作曲家のそれらの曲に決めました。さてこれらの曲に合う自然音は？と考えた時、草原の爽やかな空気や虫の音だと、それまで録り貯めた膨大な録音を調べてみましたが、どうしても満足いく録音がありません。

そうでなくとも時間がないのに、これに合う虫の音の録音にと、録音に出かけるはめになってしまいました。幸い格好な虫の音の草原を見つけてありましたので、4回5回と収録にいくうちに何とか使えるような録音ができたのは幸運でした。

難問であったこの二枚は、とても満足いく仕上がりになりました。

三枚目は明るい曲を使うと決めていましたし、ある程度目算もたっていたので、割合に楽しく制作することができました。この三枚目の冒頭のスメタナの祝典序曲はこれまでのトレーニング CD にも採用していますが、加工方法をまったく変えてありますので、楽しんで頂けるものと思います。

先方からは矢の催促で、最後の数日は徹夜の連続になって明け方、ようやくできたと早朝、特急便で CD 制作会社に出し、寝る前にもう一度精査してみようと作

った音を連続して、ウトウトしながら聴いていた所、なんと、一枚目の肝心の場所、波の音から合唱が今にも始まらんとする箇所に、波の音に紛れて男性の叫び声が入っているのではないですか。これまで何回聴いたでしょう。気づけなかったことを後悔しても始まりません。

社内に者に聴かせても解りませんでした。買って頂いた方は何回もトレーニングしますので、いずれ幻滅させることになるのでは、と思うと、改訂するしかありません。

急遽、送り出した CD の製造を工場にストップをかけて、急いでその箇所の変更を試みましたが修正することはできず、とうとう一曲は作り直しになってしまったというオマケ付きでした。

この『ブレイン・フォース』のトレーニング CD は(株)ヴォイス様のホームページでもご覧いただけます。

そしてこの一年、伝聴研らしい新たな『ブレイン・フォース』、すなわち《ブレインシンフォニー》を考え続けてきました。制作した当時は集中していましたので、頭にあったのですが、しかしトレーニング CD を改めて調べ直してみると完成度が非常に高く、マイナーチェンジ程度で、なかなか思う閃きが得られません。そこで他の方法を考え続けた結果、トレーニング CD に手を付ける事を止める代

わりの名案を思いつきました。

これまでトレーニングの休み期間には自然音 CD やナクソスの原音 CD を聴いてくださいとお伝えしてきました。

「そのトレーニング盤そのままの瓜二つの原音盤 CD を制作しよう」と思いつきました。一石二鳥も三鳥もの方法です。

加工音楽でトレーニングした耳(脳)は加工音を受け入れています。そこに同じ原音を聴くと、聴覚と脳が逆反応します。(トレーニング盤は音が左右にふられますが、原音盤でもそれを待ちか構えているが、それがないので脳(耳)が驚く)

今回の原音 CD はトレーニング CD と、瓜二つで、原音に対してまったく加工をしていないというものですが、自然音の入り方、終わり方、組み合わせも、全く同じものを制作しました。(脳)耳の誤作動は必至です。

.....

〈トレーニングの方法〉



1/《ブレインシンフォニー》のトレーニング盤 No.1《浄化》と No.2《内省》、好きな方をトレーニング盤と原音盤を交互にしながらかお好きなように、気が済むまで聴いてください。

※ 耳が馴染んできた所で原音 CD を取り出して、トレーニング盤と原音 CD 盤とを交互に聴いて頂きます。すると耳はトレーニングと潜在的に思い込んでいますので、加工がない原音に驚き、新たな刺激を出せるという作戦です。

2/No.3 飛翔は明るい曲ですので、聴く気になったら取り出して聴いてみてください。

3/馴れを防ぐため、また不眠などの時も特に自然音 CD の海や虫の声の CD を加えて頂くとうたいへん効果的です。自然音 CD の選択はご相談ください。

※ 上記使い方の後は聴きたいと思う方法で使って頂いて結構です。

※ 不眠がある場合は寝る時に聴いて頂き誘眠剤代わりにして条件反射で寝られるようにしてみてください。また自然音 CD も同じように使ってください。

4/一般のトレーニングでは耳慣れを防ぐという意味から一クール約 20 時間で終了しますが、この《ブレインシンフォニー》は比較的飽きが来ないようにできていますので、自由にお使いください。

5/その後、他の能力開発のトレーニング盤などを徐々に加えて頂きと多彩なトレーニングや、またさらに慣れを防ぐ事ができます。

原音 CD で眠さを感じなくなったとき、再びトレーニング CD を聴いてください。眠さはトレーニング効果の証拠です。

このようにトレーニング盤と原音盤とを使い分ける事によって新たなトレーニングが可能になってきます。

またこの3枚のセット、いずれもが名曲で、何回聴いても飽きが来ることは少ないと思います。是非お手元に1セット揃えてください。

トレーニングCD、原音CD、いずれもトレーニング用ヘッドフォン専用です。



い。

《プログラム》トレーニング盤 原音盤共通

No.1 《 浄 化 》 (Grave) /計 44:23

(《Purification》 Brain Force)

1	J.S.バッハ；マタイ受難曲より《ああ、血を傷にまみれし御首》	03:38
2	J.S.バッハ：音楽の捧げもの BWV.1079 《上方5度のカノン風フーガ》	01:56
3	J.S.バッハ：チェンバロ協奏曲 第4番 イ長調短調 BWV.1055 Larghetto	05:38
4	J.S.バッハ：ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ第4番 ハ短調 BWV.1017 《シチリアーナ》	03:00
5	J.S.バッハ：3声のシンフォニア 第11番 ト短調 BWV797	03:09
6	J.S.バッハ：マタイ受難曲より《来たれ娘たちよ、我とともに嘆け》	05:23
7	ハーフポイント	00:07
8	J.S.バッハ：カンタータ第208番「楽しき狩りこそわが喜び」 BWV.208～アリア	05:51
9	J.S.バッハ：ブランデンブルク協奏曲 第2番 ヘ長調 BWV.1047 ～Andante	04:02
10	J.S.バッハ：マタイ受難曲 終結合唱曲「我ら涙流しつつひざまづき」	07:48
11	J.S.バッハ：幻想曲とフーガ イ短調 BWV904 《Fantasia》	03:24



No.2 《内省》(Adagio) /計 42:07

(《Healing》 Brain Force)

1	ドビッシェー：「牧神の午後への前奏曲」「夜想曲」《海》	06:04
2	レーガー：ヒラーの主題による変奏とフーガ Op.100 より	03:43
3	ドビッシェー：アラベスク第1番 木長調	06:09
4	ラヴェル：「マ・メール・ロワ」～5.妖精の園	03:51
5	ハーフポイント	00:09
6	伝聴研 自然音シリーズより《命の営み》	04:01
7	アルビノーニ：オーボエ協奏曲 ハ長調 Op.7-12	04:00
8	ラヴェル：ソナチネ 嬰へ長調 第1楽章 モデレ	02:53
9	J.S.バッハ：クリスマス・オラトリオ BWV.284 ～シンフォニア	06:30

10 R・フックス : 幻想小曲集より Op.78

チェロ及びピアノのための7つの想像の部分、操作 04:24



No.3 《飛翔》(Animato) /計 41:45
(《Creating》 Brain Force)

- 1 ヴァーゲンザイル : ハープ、2つのバイオリンとチェロのための協奏曲 ト長調 04:45
- 2 ドルドラ : 思い出 02:39
- 3 シュトラウス.Jr : アンネンポルカ Op.117 04:37
- 4 ブラームス : 8つのピアノ小品 Op.76 第4番 間奏曲 変口長調 02:18
- 5 ヴィヴァルディー : グローリア 二長調 RV.589
~天のいと高きところには神に栄光 03:10
- 6 伝聴研 自然音シリーズより《洞窟の水琴窟》 03:00
- 7 ハーフポイント 00:09
- 8 トレルリ : トランペット協奏曲~2楽章より 03:20
- 9 シューマン : 幻想小曲集 Op.12~なぜ 02:47
- 10 J.S.バッハ : ブランデンブルク協奏曲第6番 変口長調 BWV.1051 第3楽章 05:52
- 11 スメタナ : 祝典序曲 ハ長調 08:42



=====
No.4 《郷愁》 //『リラクゼーション音楽シリーズ』CD 《サービス品》

昔懐かしい曲を集めて、自然音とのコラボレーション

- 01 ショパン 夜想曲第2番変ホ長調 Op.9-2 06:10
- 02 ブラームス 5つのリート Op.49 ~4. 子守歌 03:11

03	ラヴェル	亡き王女のためのパヴァーヌ	07:27
04	ラフマニノフ	パガニーニの主題による狂詩曲 Op.43	04:05
05	フォーレ	シシリエンヌ Op.78	04:36
06	メンデルスゾーン	「夏の名残のぼら」による幻想曲 Op.15	06:23
07	作曲者不詳	グリーンズリーブス	03:47
08	メリカント	ロマンス	05:43
09	シューベルト	子守歌 D.498	03:22
10	ウェーバー	魔弾の射手より J.277 序曲	02:44
11	ショパン	子供の情景 Op.15 より《トロイメライ》	03:48
12	S. H. ウッド	ホームスイートホーム	02:19
13	ボッケリーニ	弦楽五重奏曲ホ長調 G275 第3楽章 メヌエット	06:26

《ライナーノート》

私自身童謡が好きなので、昔懐かしい曲の特集をしたいという願望は、この事業の始めから持っていました。香りや音楽も含めて古い記憶は突然と蘇る事があります。これはボケ防止の効果もあることが証明されています。

その事もあり、昔を思い出せる良い童謡のCDが制作できないかと、一時は発売されている童謡のCDを何種類も聴いてみました。ところが昔のレコードをCD化したもので音質が悪かったり、編曲や歌、演奏の質が極めて粗悪なものばかりでした。また音源使用も難しそうな気配。

それなら数は少ないが、ヨーロッパ発の童謡類を集めてみようかと、少しずつ抜き出していました。

《ブレインシンフォニー》を制作す

るにあたって、「自然の中のモーツァルト」のような自然音とミックスさせて懐かしく思う音楽CDを一枚制作しようかと考えました。

いつもだと、あまり知られていない名曲を使いますが、勿論、今回はどなたも聞き覚えがある曲ばかりを特集しました。

「毎日聴いています」という喜びの声がたくさん届いています。

「自然の中のモーツァルト」は4枚組ですが、この「郷愁」は一枚でも販売いたします。

音楽CDですので、どのような聴き方をして頂いても結構です。